



茨木市水道部

ビジョンスローガン

安全と信頼を
未来につなぐ
水道の実現



平成30年度 / 2018年度

茨木市水道事業ビジョン



はじめに



本市の水道は、1927年(昭和2年)に事業認可され、1929年(昭和4年)に給水を開始して以来、人口の増加や都市の発展に伴う水需要の増加に対応するため、9次にわたる拡張事業を行ってまいりました。

そして、2009年(平成21年)4月には、水道事業の方向性を示す「茨木市水道ビジョン」を策定し、水道施設及び管路の耐震化を行うなど、安全・安心な水道水の

安定供給に努めてきたところであります。

現在、上水道の普及率は、ほぼ100%に達し、既に拡張から維持管理の時代へと移行しており、高度経済成長期に整備された水道施設の更新に継続的に取り組むなど、将来にわたって安定して供給し続けるための取組みが求められています。

こうした中、「茨木市水道ビジョン」は改定の時期を迎え、水道を取り巻く環境も大きく変化していることから、新たに本市水道事業の目指すべき将来像を描き実現するため、このたび、「茨木市水道事業ビジョン」を10か年計画として策定いたしました。

本ビジョンは、厚生労働省が公表している「新水道ビジョン」の政策課題である「安全」「強靱」「持続」の観点をふまえ、「安全と信頼を未来につなぐ水道の実現」を基本理念に、市民の皆さまに事業の安定性や持続性をお示しするものであります。

皆さまのより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2018年(平成30年)4月

茨木市長 **福岡 洋一**



目次

第1章 水道事業ビジョンの改定の趣旨と位置付け

- 1. 改定の趣旨 1
- 2. 位置付け 2

第2章 水道事業のあゆみ 3

第3章 水道事業の現状と課題

- 1. 茨木市の概要 9
- 2. 水需要の動向 11
- 3. 水源・水質 13
- 4. 水道施設 18
- 5. 危機管理 27
- 6. お客さまサービス 36
- 7. 環境への配慮 43
- 8. 経営 45
- 9. 水道事業ガイドラインの主な業務指標から見た本市の現状 50

第4章 将来の事業環境

- 1. 人口減少と水需要の動向 54
- 2. 更新需要の増加と資金の確保 55
- 3. 人材の確保と技術の継承 59
- 4. 危機管理に対する新たな取り組み 60
- 5. お客さまニーズ 61
- 6. 今後対処すべき課題の整理 62

第5章 茨木市水道事業の目指す将来像

- 1. 目指す将来像 63
- 2. 基本目標 64
- 3. 施策の体系図 65

第6章 具体的施策と実施目標

- 1. バランスの取れた事業経営【持続】 66
- 2. ライフラインとして必要な強さの確保【強靱】 76
- 3. キレイで安全な水の供給【安全】 86

第7章 フォローアップ（進捗管理） 91

資料編 92